

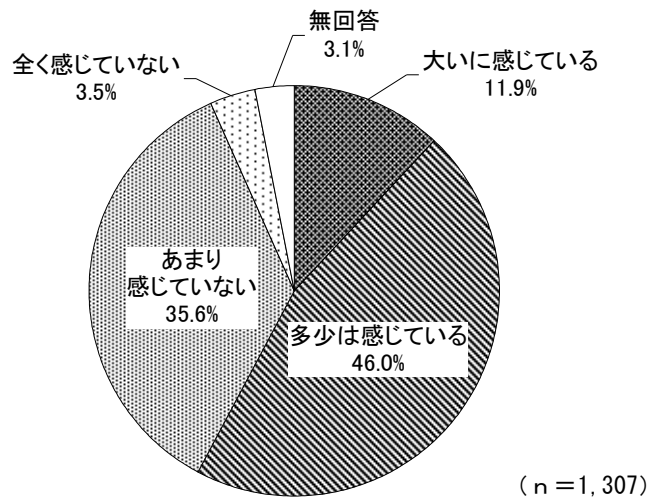
11 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

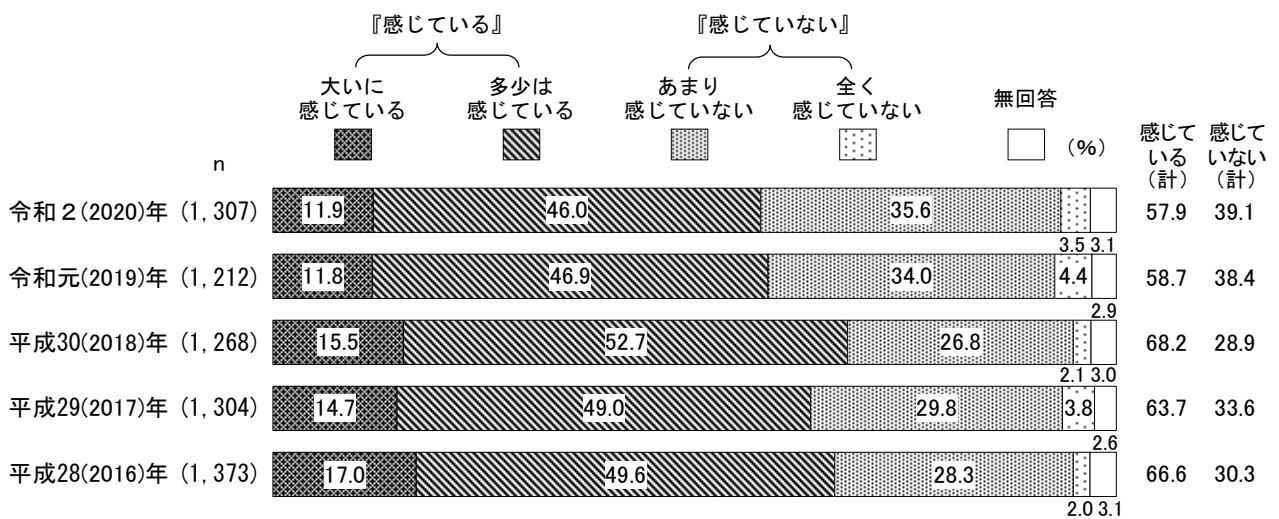
問28 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,307]

1	大いに感じている	11.9%	3	あまり感じていない	35.6%
2	多少は感じている	46.0%	4	全く感じていない	3.5%
				(無回答)	3.1%

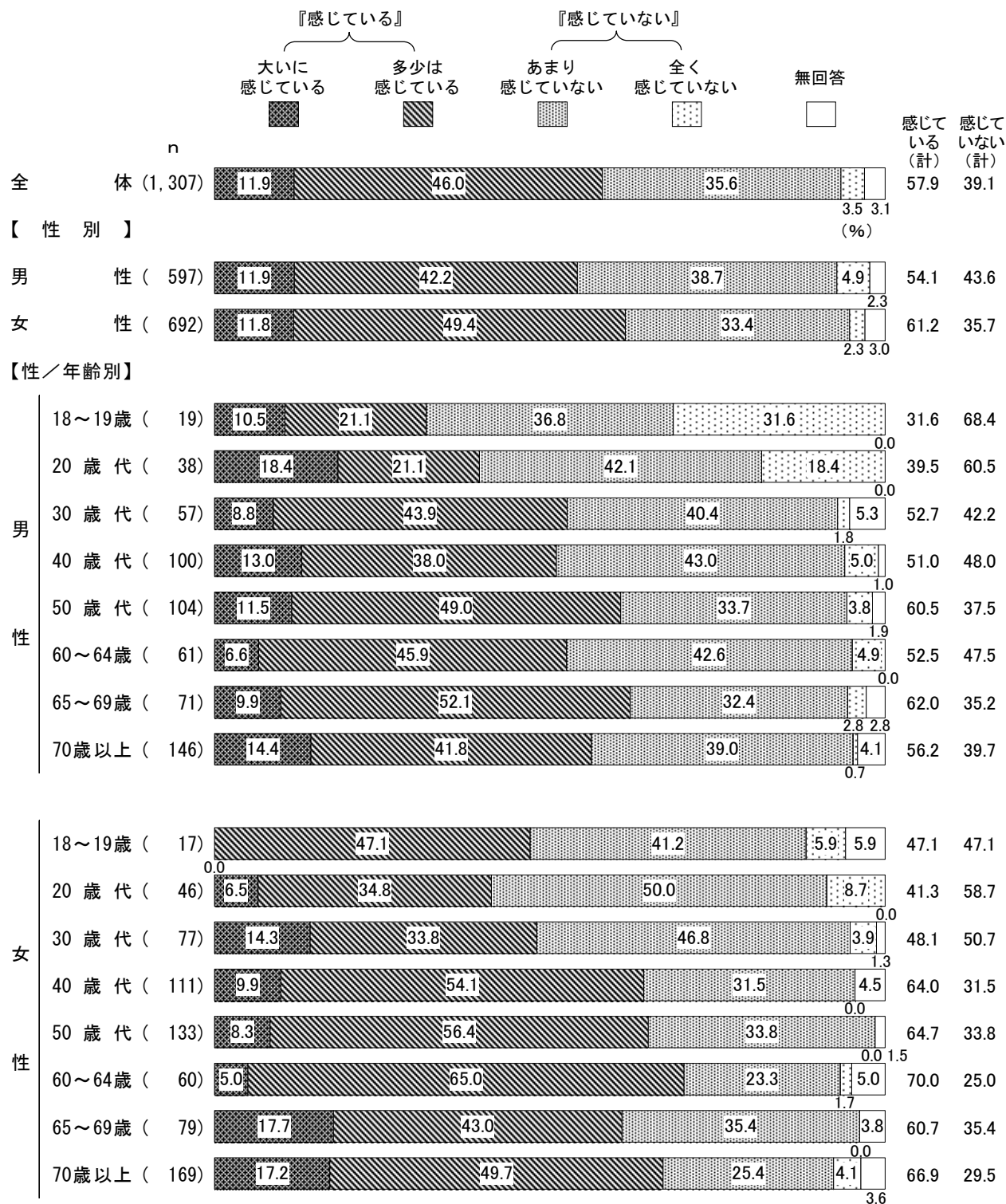


全体でみると、「大いに感じている」(11.9%)と「多少は感じている」(46.0%)の2つを合わせた『感じている』(57.9%)が6割近くとなっている。一方、「あまり感じていない」(35.6%)と「全く感じていない」(3.5%)の2つを合わせた『感じていない』(39.1%)がほぼ4割となっている。



過去の調査結果と比較すると、令和元(2019)年調査と大きな傾向の違いはみられない。

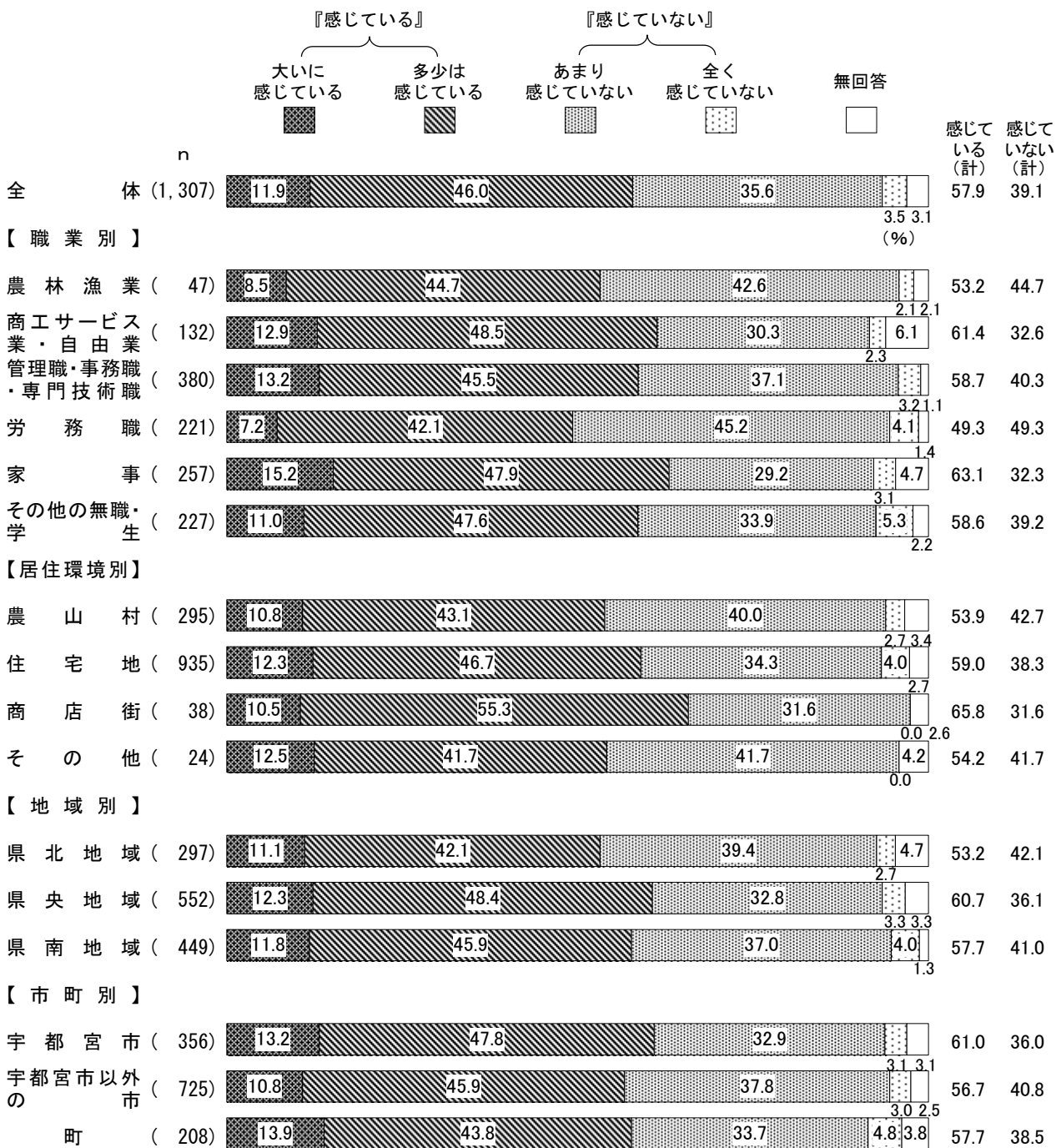
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『感じている』では〈女性〉(61.2%)が〈男性〉(54.1%)より7.1ポイント高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性〉(43.6%)が〈女性〉(35.7%)より7.9ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『感じている』では〈女性60～64歳〉が70.0%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈男性20歳代〉が60.5%、〈女性20歳代〉が58.7%と高くなっている。

【職業別・居住環境別・地域別・市町別】



職業別でみると、『感じている』では〈家事〉が63.1%と高くなっている。一方、『感じていない』では〈労務職〉が49.3%と高くなっている。

居住環境別でみると、『感じている』では〈商店街〉が65.8%と高くなっている。

地域別でみると、『感じている』では〈県央地域〉が60.7%と高くなっている。

市町別でみると、『感じている』では〈宇都宮市〉が61.0%と高くなっている。

(1-1) 食品の安全性について不安に思うもの

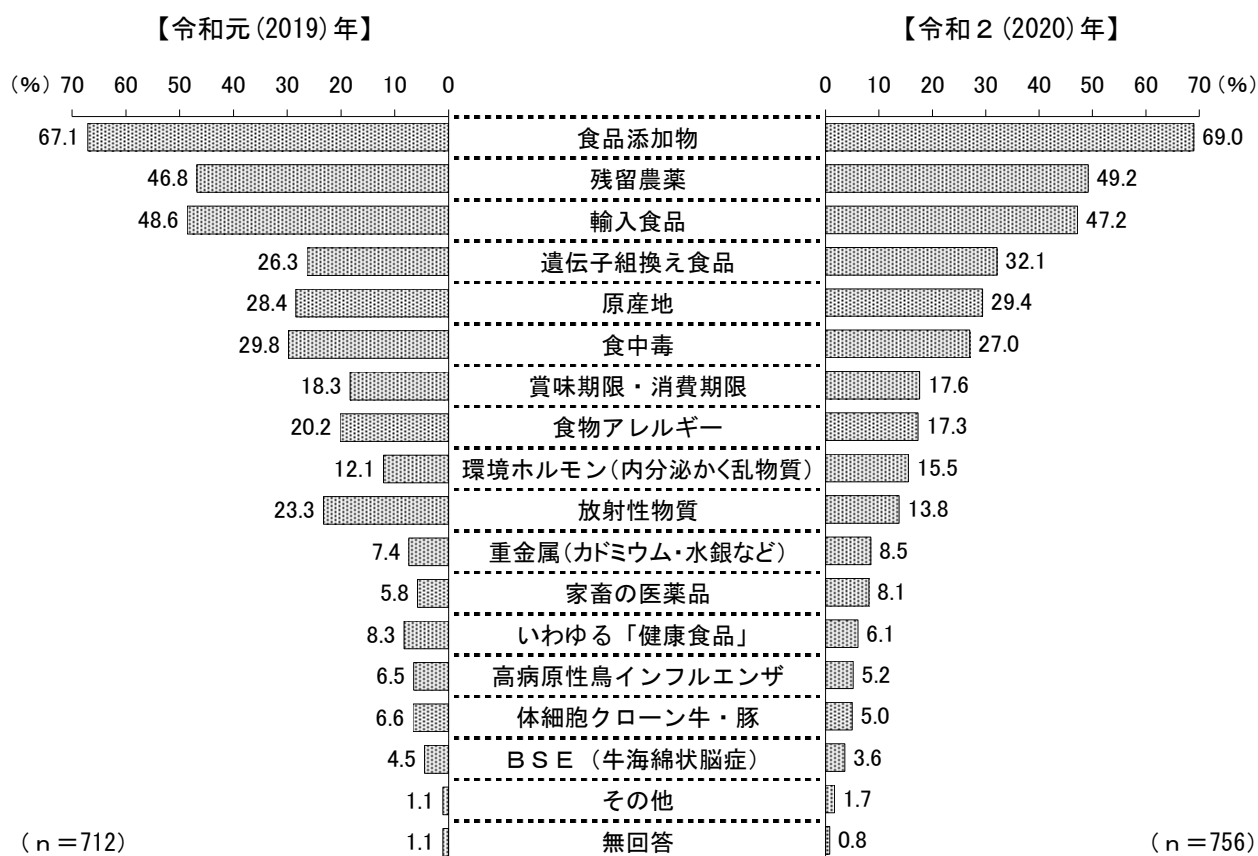
(問28で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問28-1 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。

次の中から4つまで選んでください。

[n=756]

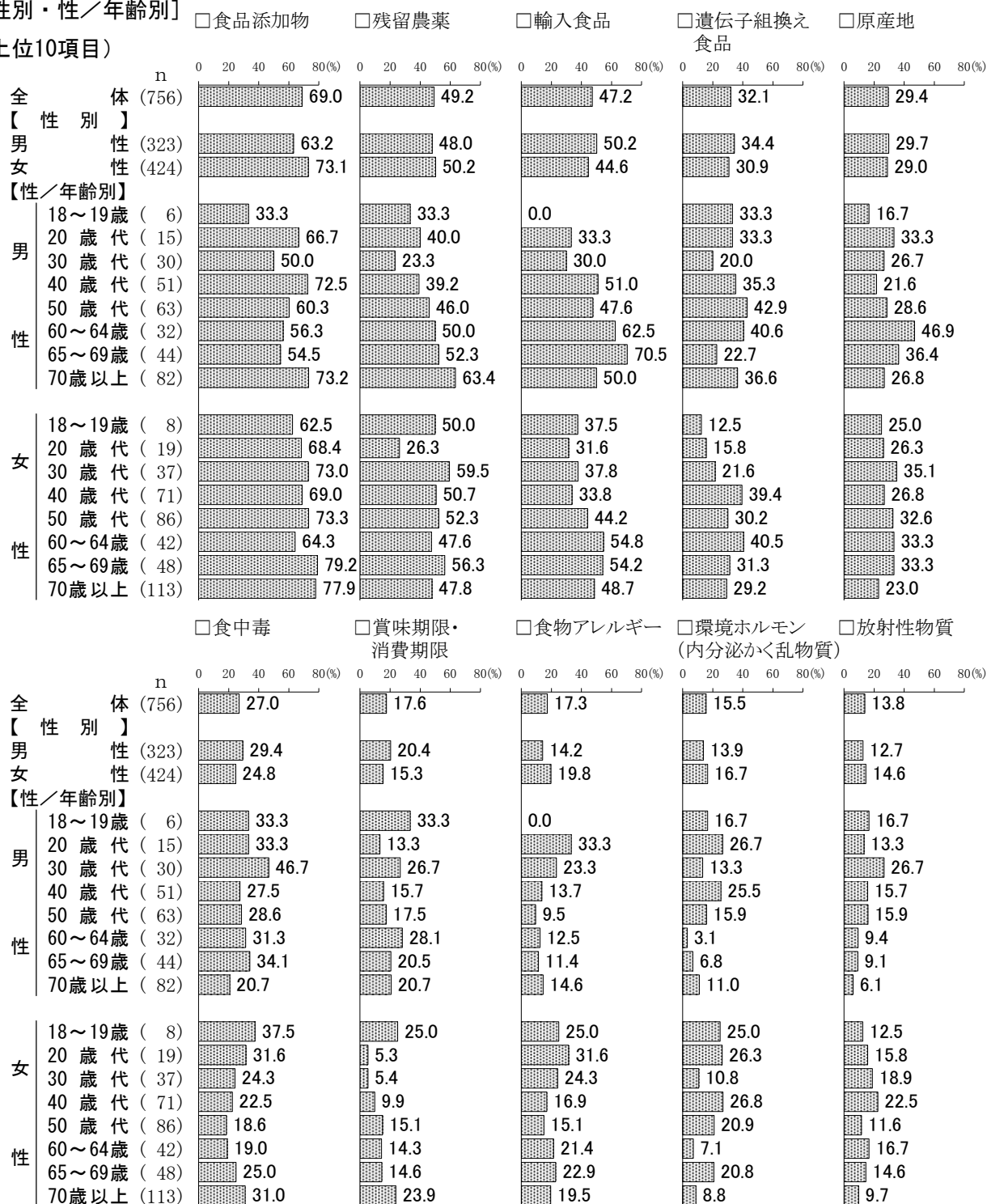
1	残留農薬	49.2%	10	重金属(カドミウム・水銀など)	8.5%
2	食品添加物	69.0	11	食中毒	27.0
3	環境ホルモン(内分泌かく乱物質)	15.5	12	いわゆる「健康食品」	6.1
4	遺伝子組換え食品	32.1	13	原産地	29.4
5	BSE(牛海綿状脳症)	3.6	14	輸入食品	47.2
6	高病原性鳥インフルエンザ	5.2	15	賞味期限・消費期限	17.6
7	体細胞クローン牛・豚	5.0	16	放射性物質	13.8
8	食物アレルギー	17.3	17	その他	1.7
9	家畜の医薬品	8.1		(無回答)	0.8



全体で見ると、「食品添加物」(69.0%)がほぼ7割で最も高く、次いで「残留農薬」(49.2%)、「輸入食品」(47.2%)、「遺伝子組換え食品」(32.1%)、「原産地」(29.4%)の順となっている。

令和元(2019)年の調査結果と比較すると、「遺伝子組換え食品」が5.8ポイント、「環境ホルモン(内分泌かく乱物質)」が3.4ポイント、それぞれ増加している。一方、「放射性物質」が9.5ポイント減少している。

【性別・性／年齢別】
 (上位10項目)

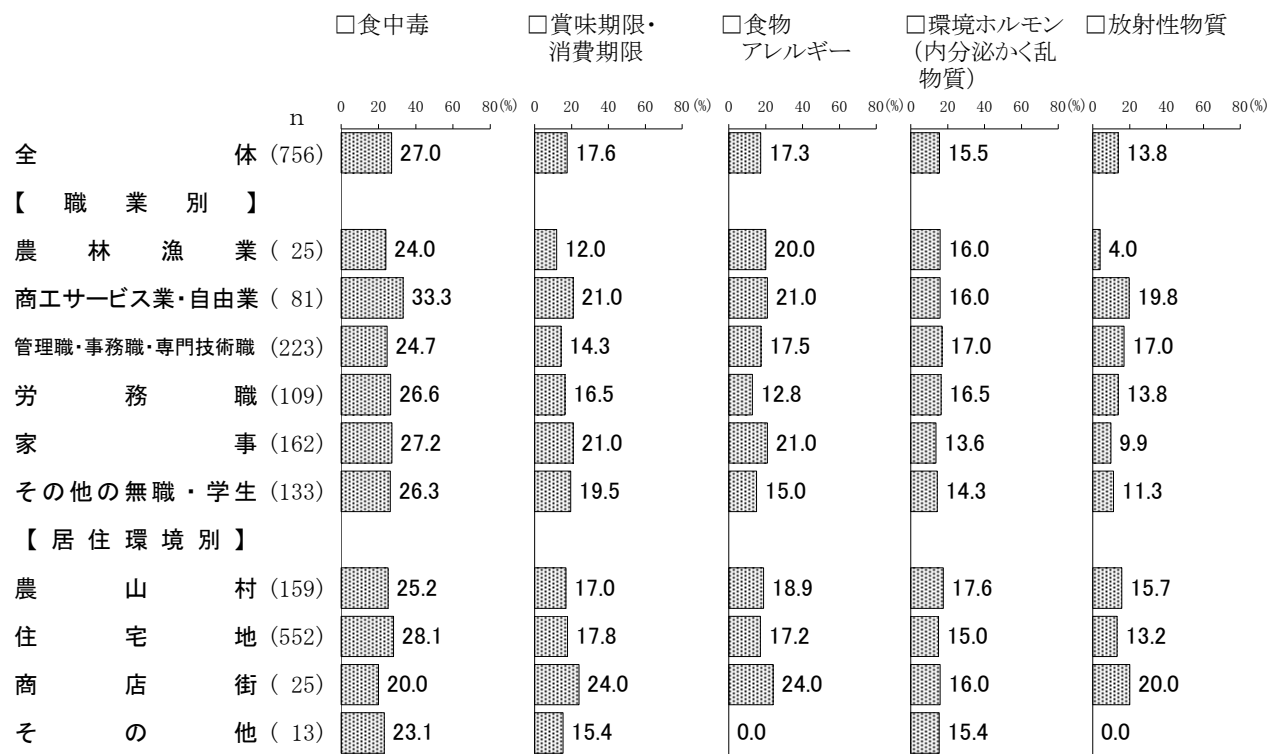
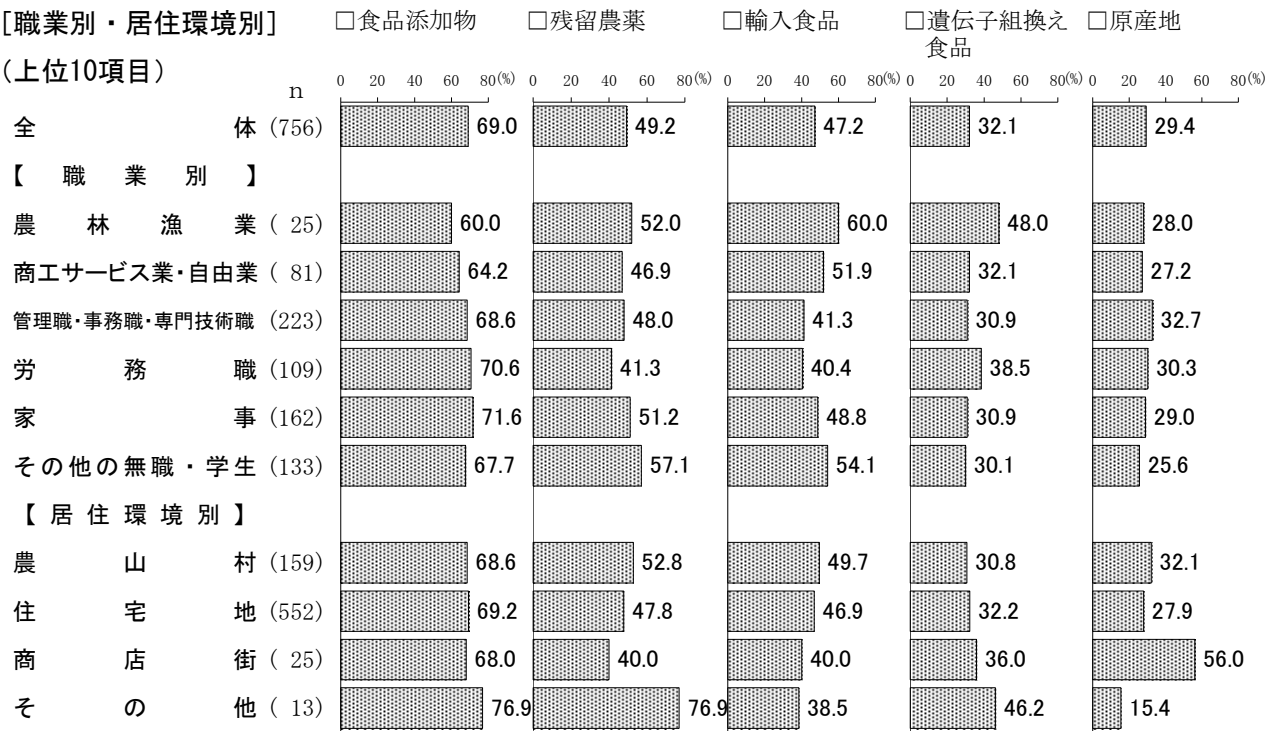


性別でみると、「食品添加物」では〈女性〉(73.1%)が〈男性〉(63.2%)より9.9ポイント高くなっている。「輸入食品」では〈男性〉(50.2%)が〈女性〉(44.6%)より5.6ポイント高くなっている。「食物アレルギー」では〈女性〉(19.8%)が〈男性〉(14.2%)より5.6ポイント高くなっている。「賞味期限・消費期限」では〈男性〉(20.4%)が〈女性〉(15.3%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「食品添加物」では〈女性65~69歳〉が79.2%、〈女性70歳以上〉が77.9%と高くなっている。「残留農薬」では〈男性70歳以上〉が63.4%と高くなっている。「輸入食品」では〈男性65~69歳〉が70.5%と高くなっている。「原産地」では〈男性60~64歳〉が46.9%と高くなっている。「食中毒」では〈男性30歳代〉が46.7%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]

(上位10項目)



職業別でみると、「残留農薬」では〈その他の無職・学生〉が57.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「残留農薬」では〈農山村〉が52.8%と高くなっている。